



日本災害情報学会 第12回学会大会プログラム

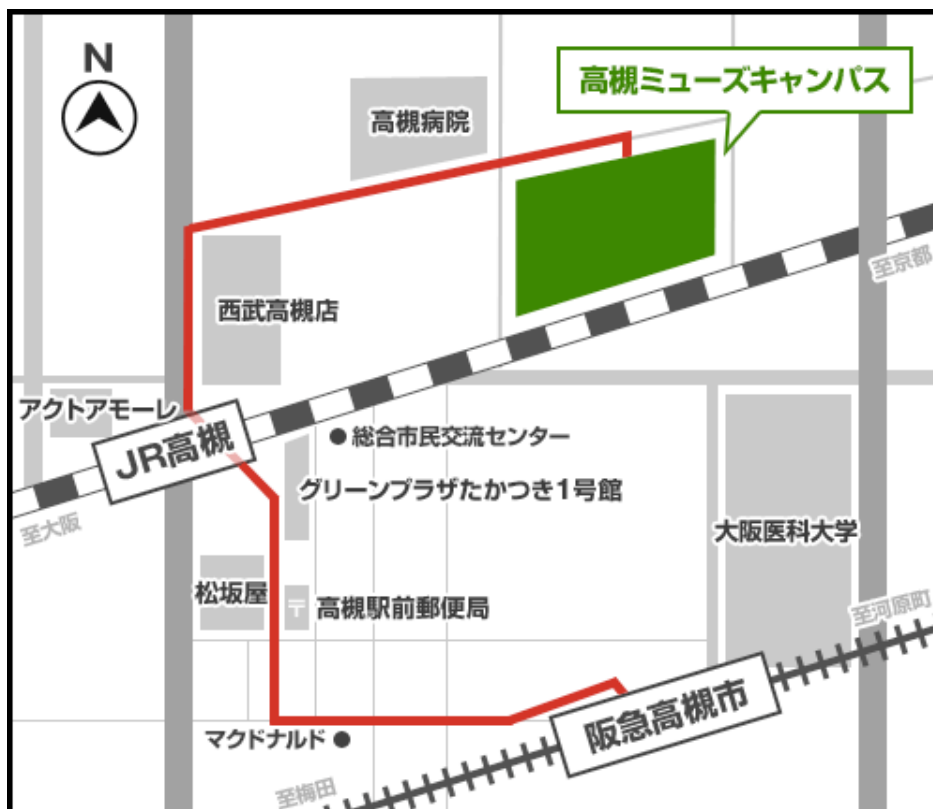
— 関西大学 社会安全学部 —

10月22日(金)	受付開始	8時45分	
	開会	9時25分～9時30分	A会場
	研究発表	9時35分～11時45分	A会場 B会場
	昼休み(理事会)		
	研究発表	13時00分～18時15分	A会場 B会場
10月23日(土)	懇親会	19時00分～21時00分	レストラン MUSE
	受付開始	8時30分	
	研究発表	9時10分～11時50分	A会場 B会場
	昼休み		
	記念講演	13時00分～14時00分	ミュージズホール
	廣井賞授賞式・講演	14時15分～15時45分	ミュージズホール
	総会	16時00分～16時50分	ミュージズホール
	閉会	16時50分～17時00分	ミュージズホール

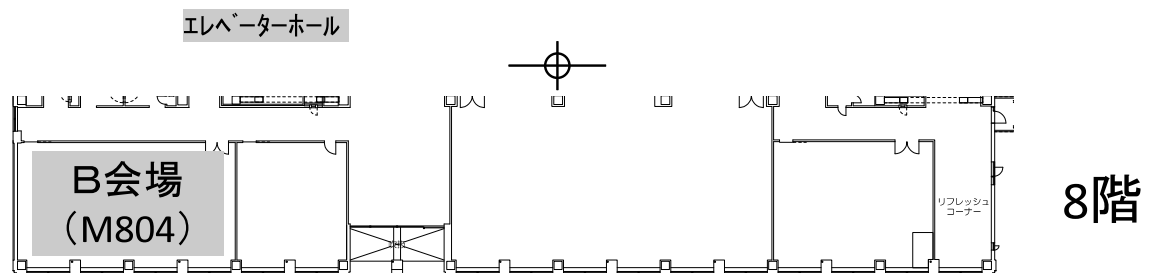
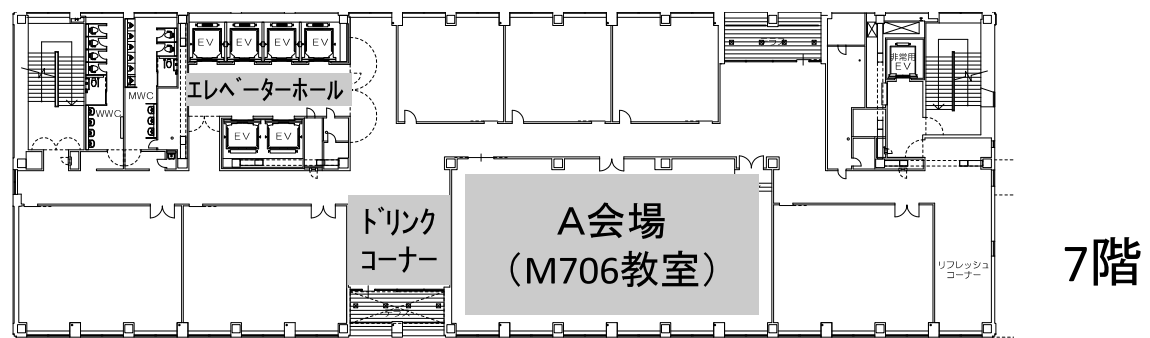
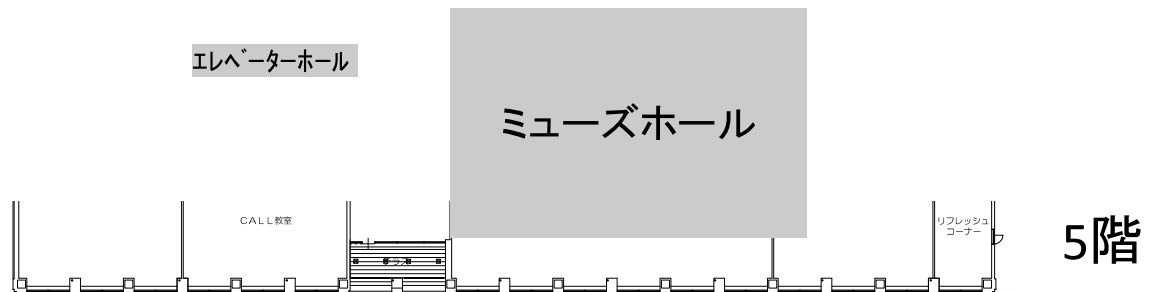
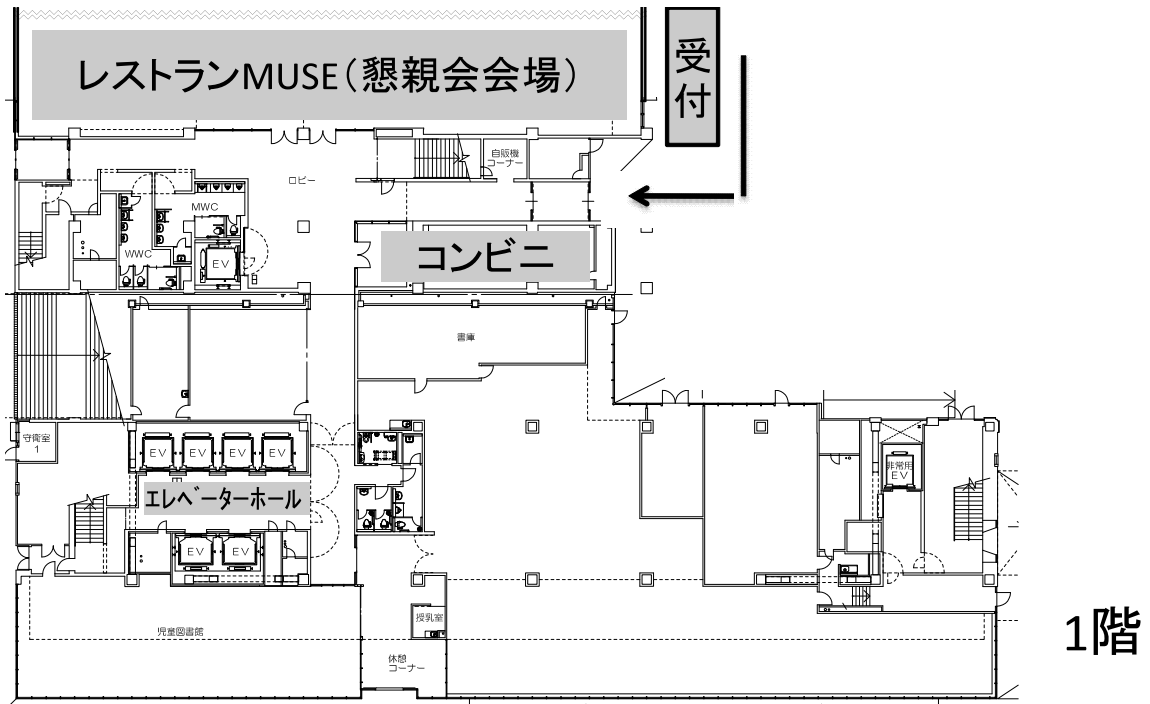
- 会場： 関西大学 社会安全学部（高槻ミュージズキャンパス）（大阪府高槻市白梅町7番1号）
 JR高槻駅から徒歩約10分／阪急高槻市駅から徒歩約15分
- 参加費： 会員1,000円、非会員3,000円、学生会員無料、学生非会員1,000円
- 予稿集代： 会員2,000円、非会員4,000円、学生会員1,000円、学生非会員2,000円
- 懇親会会場： レストラン MUSE
- 懇親会費： 一般3,000円、学生1,000円

【大会会場】

高槻ミュージズキャンパス



【部屋の配置図】



【開 会】 9:25 挨拶 河田恵昭 日本災害情報学会会長 (A会場)

【研究発表】

A会場(M706)

A-1 風水害(1)防災情報システム(1)

(座長 栗城 稔)

- 9:35 水防体制に関するアンケート調査～昭和60年調査、平成10年調査との比較～
小林 肇(国土交通省国土技術政策総合研究所)
- 9:50 道路浸水深の自動観測とその利用
中根 和郎((独)防災科学技術研究所)
- 10:05 Xバンド雨量レーダの試験運用による提供画像について
栗城 稔((財)河川情報センター)
- 10:20 地方自治体の水害対応の意思決定を支援する地理空間情報の相互運用性を有する情報システムの構築
田口 仁((独)防災科学技術研究所)

A-2 住民避難 風水害(2)

(座長 片田 敏孝)

- 10:45 洪水リスク軽減策に関する社会的イメージ～情報提供戦略の違いがもたらす影響～
及川 康(群馬大学広域首都圏防災研究センター)
- 11:00 水害時の避難判断を促進する情報提示内容についての実験的検討
稲葉 緑(電気通信大学大学院情報システム学研究科)
- 11:15 防災無関心層へのコミュニケーション・チャンネル開拓の試みー根室市落石漁協における漁船の津波沖出し避難の取り組みを事例にー
片田 敏孝(群馬大学広域首都圏防災研究センター)
- 11:30 水害リスクにおける発生頻度の表示方法とリスク認知特性ー住民および大学生を対象としたアンケート調査結果ー
榎村 康史(熊本大学大学院自然科学研究科)

B会場(M804)

B-1 防災訓練 防災情報システム(2)

(座長 近藤 伸也)

- 9:35 消防防災GISを活用した防災訓練の実施について～宮城県石巻市の事例～
齋藤 泰((財)消防科学総合センター)
- 9:50 静岡県災害対策本部における災害情報の共有と可視化への挑戦 データベースとGISの導入による
内山 敬介(静岡県危機管理部)
- 10:05 平常時と災害時の連続性を考慮した自治体情報システムによる図上運用実験
浅野 耕一(秋田県立大学システム科学技術学部)
- 10:20 目標管理型災害対応と戦略的な広報を身につけることをねらいとした図上訓練の開発
近藤 伸也(東京大学生産技術研究所)

B-2 風水害(3)防災情報システム(3)

(座長 天野 篤)

- 10:45 2009年2月からの「デジタル放送研究会」成果概要
天野 篤(アジア航測株式会社)
- 11:00 2009年台風8号(Morakot)台湾南部豪雨災害現地視察報告～未曾有の災害に対して災害情報に何が出来るか～
三島 和子(セコム IS 研究所)
- 11:15 水害情報と地上デジタルテレビー京都市水害危険地域における住民調査を中心にー
中村 功(東洋大学)
- 11:30 気象情報のあり方に関する研究～社会情報としての気象注警報の発表基準のあり方について～
竹之内健介(三重県)

<昼休み> 11:45～13:00

【研究発表】

A会場(M706)

A-3 防災対策・計画(1)

(座長 越山 健治)

- 13:00 自助意識の高さは具体的な防災対策活動につながるか? -兵庫県三木市での住民意識調査から-
有馬 昌宏(兵庫県立大学応用情報科学研究科)
- 13:15 重要文化財建造物の防火計画における火災覚知情報の把握
廣井 悠(東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻)
- 13:30 減災対策・災害復旧における地域継続マネジメントの導入に向けた建設業の事業継続計画(BCP)策定の提案と実践
磯打千雅子(香川大学大学院工学研究科)
- 13:45 岩手・宮城内陸地震から2年、被災企業のBCP策定の状況
中野 晋(徳島大学環境防災研究センター)
- 14:00 近年の地方自治体の災害対策本部運営状況に関する調査報告
越山 健治(関西大学社会安全学部)

A-4 土砂災害

(座長 沢野 伸浩)

- 14:25 2009年7月山口豪雨災害時の地域住民の対応
清水 誠(長崎大学大学院)
- 14:40 2009年7月山口豪雨災害時の組織の対応
高橋 和雄(長崎大学工学部)
- 14:55 局地的大雨における土砂災害警戒情報の運用実態について~長野県における事例を通じた課題の抽出と考察~
藤本 済(長野県建設部砂防課)
- 15:10 Flow Accumulation を用いた中山間地における豪雨災害の被害予測に関する考察-平成22年7月16日の豪雨による庄原市の水害を事例にして-
沢野 伸浩(NPO 法人基盤地図情報活用研究会)

B会場(M804)

B-3 防災情報システム(4)

(座長 秦 康範)

- 13:00 「防災情報マッシュアップサービス」の実践的取組みとその可能性
加藤 孝明(東京大学生産技術研究所)
- 13:15 災害リスク情報の相互運用・二次利用の可能性と課題-第1回防災マッシュアップコンテストを通じて-
臼田裕一郎((独)防災科学技術研究所)
- 13:30 災害リスク情報を活用したリスクガバナンスの高度化~第1回 e 防災マップコンテストを通じて~
長坂 俊成((独)防災科学技術研究所)
- 13:45 住民・行政協働ユビキタス減災情報システム(1)
秦 康範(山梨大学工学部土木環境工学科)
- 14:00 住民・行政協働ユビキタス減災情報システム(2)
大山 勲(山梨大学工学部土木環境工学科)
- 14:15 住民・行政協働ユビキタス減災情報システム(3) 情報システム連携の有効性検証の取り組みの紹介
鈴木 猛康(山梨大学大学院医学工学総合研究部)

B-4 風水害(4)

(座長 森山 聡之)

- 14:40 洪水氾濫からの避難に役立つハザードマップについての一考察
岡山 和生((財)河川情報センター)
- 14:55 福岡市樋井川における市民共働治水について
森山 聡之(崇城大学)
- 15:10 巨大台風襲来時における高潮災害の広域住民避難に関する研究
児玉 真((株)IDA 社会技術研究所)

【 研 究 発 表 】

A 会場(M706)

A-5 2010年チリ地震津波(1)

(座長 牛山 素行)

- 15:35 2010年チリ地震津波における中米の津波対応力の進展と課題 2007年ペルー地震津波との比較
荒木田 勝(アジア防災センター)
- 15:50 2010年2月28日チリ地震津波の際の静岡県・岩手県における避難行動調査
牛山 素行(静岡大学防災総合センター)
- 16:05 チリ中部沿岸の地震による津波警報と住民の対応 アンケート調査からの考察
中森 広道(日本大学文理学部社会学科)
- 16:20 2010年2月チリ地震における釧路市民の避難意思決定要因に関する調査
加藤 史訓(国土交通省国土技術政策総合研究所)

A-6 2010年チリ地震津波(2)

(座長 矢守 克也)

- 16:45 「2010年チリ中部沿岸を震源とする地震による津波」における市区町村の対応－災害対策本部の運営を中心に－
黒田 洋司((財)消防科学総合センター)
- 17:00 「2010年チリ中部沿岸を震源とする地震による津波」における市区町村の対応－避難措置を中心に－
小松 幸夫((財)消防科学総合センター)
- 17:15 住民避難を誘発する社会対応の検討－2010年チリ地震津波の避難実態から－
金井 昌信(群馬大学 広域首都圏防災研究センター)
- 17:30 メディア・イベントとしての2010年チリ地震津波(1)－リアリティ構築をめぐる構造のあらたな分析フレーム－
矢守 克也(京都大学防災研究所)
- 17:45 メディア・イベントとしての2010年チリ地震津波(2)－NHKのテレビ報道におけるリアリティの綻び－
近藤 誠司(NHK大阪放送局)
- 18:00 メディア・イベントとしての2010年チリ地震津波(3)－主たるリアリティ・ステイクホルダーの対応分析－
奥村与志弘(人と防災未来センター)

B 会場(M804)

B-5 防災情報システム(5)

(座長 宇田川真之)

- 15:35 災害情報伝達における地域住民のインフォーマルな社会的関係に関する試論－鹿児島県垂水市の事例をもとに－
亀田 晃一(鹿児島大学大学院人文社会科学部)
- 15:50 Twitterによる災害情報収集伝達支援ASPサービス「Tweet-Report」防災気象情報とソーシャルメディア情報の融合による「身近」で「実態」に即した「リアルタイム」な地域防災インフラの提供
横内 絢子(日本気象協会)
- 16:05 A Development of Disaster Information Systems using Social Media ～ A potential to use Twitter～
山本 義幸(愛知工業大学)
- 16:20 聴覚障害者あて防災情報FAX製作の取組みについて
宇田川真之(人と防災未来センター)

B-6 防災対策・計画(2)地震災害 火山災害

(座長 鷹野 澄)

- 16:45 福島県における火山防災－磐梯山の臨時火山情報から10年の中で－
佐藤 公(磐梯山噴火記念館)
- 17:00 建物内の地震観測と防災情報への活用
鷹野 澄(東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)
- 17:15 地震情報を利用した安否確認システムの開発
乗藤 雄基(東京ガス株式会社 防災・供給部)
- 17:30 地震発生後の道路状況を迅速に把握する取り組み
長屋 和宏(国土技術政策総合研究所地震防災研究室)
- 17:45 広域災害時の医療情報と災害派遣医療チーム(DMAT)
近藤 久禎(国立病院機構災害医療センター)
- 18:00 災害時における避難所の情報収集に関する考察～新潟県中越沖地震での事例を踏まえて～
加藤 健(防衛大学校)

【 懇 親 会 】 19:00～21:00 レストラン MUSE

【研究発表】

A会場(M706)

A-7 伝承 災害報道

(座長 井口 隆)

- 9:10 人道支援の報道記事の内容分析ーパダン沖地震を事例にー
地引 泰人(東京大学大学院情報学環
附属総合防災情報研究センター)
- 9:25 災害写真が持つ意義と収集・提供を目指す
アーカイブセンター構想ー災害写真
記録の収集と提供のナショナルセンター
を目指してー
井口 隆((独)防災科学技術研究所)
- 9:40 被災経験や教訓の伝承による災害文化
の形成ー風化と忘却の相違に着目して
ー
島 晃一((株)IDA社会技術研究所)
- 9:55 災害の記録・記憶の継承と自然災害情
報室の取り組み
堀田 弥生((独)防災科学技術研究所
自然災害情報室)
- 10:10 海外危機情報共有システムの実装とその
展開 野村総合研究所におけるグロー
バル安否確認システムの導入事例
高森 要((株)野村総合研究所)

A-8 風水害(5)

(座長 松尾 一郎)

- 10:35 2010年7月神戸市長田区での局所的な
浸水被害について
宇野 宏司(神戸市立工業高等専門学校)
- 10:50 平成20年8月末豪雨における被災者支
援活動の展開ー名古屋市での取組みを
例にー
蔡 垂功((元)大阪市危機管理室)
- 11:05 平成21年台風18号における危機感共
有の試行と減災効果の検証ー名古屋水
防災情報共有推進連携会議の取組と社
会実験の実施状況についてー
小島 優(国土交通省)
- 11:20 水害時の情報に関する一考察(2009年
台風9号による水害を事例として)
宮川 勇二(東京大学総合防災情報研
究センター)
- 11:35 台風9号における佐用町久崎地区自治
会による防災行動の調査ー減災社会形
成モデル研究のうち住民防災組織による
防災行動の調査・研究ー
松尾 一郎(環境防災総合政策研究機
構)

B会場(M804)

B-7 防災情報システム(6)

(座長 滝澤 修)

- 9:10 リアルタイム地震情報配信サービスにつ
いての特色ー防災システムとしての地震
ネット(jishin.net)の進化ー
菊地 陽亮((株)ティージー情報ネットワ
ーク)
- 9:25 緊急地震速報と直下地震検知器を地震
時の動画で検証する
山口 耕作((株)シグネット)
- 9:40 高輝度フルカラーLEDを用いた非常時
通信システムの提案
原山 拓士(和歌山大学大学院システム
工学研究科)
- 9:55 半径500mに放送が可能な特定小電力
FM放送機の開発と防災訓練における検
証
滝澤 修((独)情報通信研究機構)

B-8 原子力災害 大規模事故 地震災害

(座長 中村 功)

- 10:35 伊豆東部の地震活動の予測
横田 崇(気象庁地震火山部)
- 10:50 原発耐震における安全と安心
伯野 元彦(名誉会員)
- 11:05 大規模事故発生時に救援活動等に参加
した市民に対する直後から必要なスト
レスケアー2005年JR福知山線脱線事故の
事例分析からー
岡野谷 純(特定非営利活動法人日本フ
ァーストエイドソサエティ)
- 11:20 イタリア・ラクイラ地震と防災体制のあり方
中村 功(東洋大学)
- 11:35 伊ラクイラ地震での地震学者捜査事件
大木 聖子(東京大学地震研究所)

<昼休み> 11:50~13:00

10月23日(土) 午後 関西大学 高槻ミュージックキャンパス (一般公開)

会場 ミューズホール

【記念講演】13:00~14:00

住田功一 NHK 大阪放送局 「アーカイブスから語り継ぐ若者たちの阪神・淡路大震災ノート」

【廣井賞授賞式・講演】14:15~15:45

社会的功績分野

長岡移動電話システム株式会社 (FM ながおか)

横浜コミュニティ放送株式会社 (FM サルース)

学術的功績分野

北原糸子氏 (立命館大学歴史都市防災センター教授)

■ ここまで一般公開

【総会】16:00~16:50

【閉会】16:50 挨拶 高橋智幸 第12回学会大会実行委員長

《第12回学会大会実行委員会》

委員長 高橋智幸 (関西大学)
副委員長 奥村与志弘 (人と防災未来センター)
委員 阿部龍 (兵庫県)
江原竜二 (大阪府)
太田尚志 (毎日放送)
木村彰宏 (ハイドロソフト技術研究所)
櫻井溪太 (日本気象)
佐々木靖司 (高槻市)
城下英行 (関西大学)
安富信 (大阪読売サービス)
矢守克也 (京都大学防災研究所)

事務局 東京都新宿区若葉 1-22-505
中村信郎 電話 03-3359-7827

メ モ